

本書の使い方

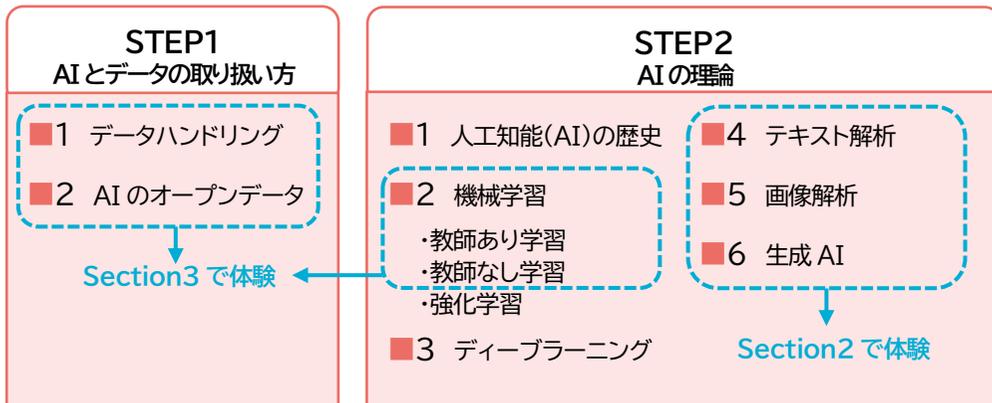
本書の構成



本書の学び

■ Section1 AI活用の基礎知識

Section1 は、STEP1 においてデータの基本的な取り扱い方を学んだ後、AI に用いられるデータの種類や活用事例を確認します。STEP 2 では AI の歴史と未来を知り、機械学習とディープラーニングの基本的概念を学んだ後、応用分野について確認します。Section1 には、この後の Section2、3 の体験を深く理解するために必要な知識がまとめられています。



■ Section2・3 AI 利活用を体験

本書の Section2、3 の各 STEP では、操作学習を通じて AI の利活用を体験します。初めにこれから体験する活動の先行事例や手法をご紹介し、実際に体験するシチュエーションや前提条件を提示します。それらを理解した後、操作学習に進みましょう。紙面の各種ガイドに従いながら実践しましょう。

**体験するシチュエーション：
現場での活用シーン**

2 「AI 小助手」を体験する

3 関連文書が用意される

4 行先不明な問い合わせを振り回す

5 問い合わせの進捗を確認する

6 問い合わせの完了を確認する

**One Point：
ためになる参考情報**

「AI 小助手」の活用シーン

「AI 小助手」の活用シーン

「AI 小助手」の活用シーン

**活用の流れの
振り返り**

4 「行先不明な問い合わせを振り回す

5 問い合わせの進捗を確認する

6 問い合わせの完了を確認する

**今回の体験テーマ：
取り組む体験の趣旨**

**登場したキーワード：
キーワードの
解説ページの案内**

やってみよう：操作の解説動画

本書では、AI サービスの使用方法を視覚的に理解できるよう、操作が必要な箇所において、動画で解説しています。動画名をクリックまたは QR コードからアクセスし、パソコン・スマートフォン・タブレットで視聴しながら、操作しましょう。



■ Section4 AI のさらなる活用をめざして

Section4 は、AI 活用時代の社会の動きに着目します。倫理的な考え方や国際ガイドライン、法律（知的財産権・個人情報保護法）の枠組みを理解した後、Society5.0、SDGs 等の未来社会構想に基づいて、これからの社会のあるべき姿について考えます。

**STEP1
AI の倫理と法律**

- 1 AI 倫理
- 2 国際規約・政策・利用ガイドライン
- 3 知的財産権
- 4 個人情報

**STEP2
AI の社会実装**

- 1 Society5.0
- 2 AI で変わる私たちの暮らし